

岩戸町会だより

令和7年第3号
発行
岩戸町会
編集
岩戸町会広報

令和7年度 第30回地域懇談会

令和8年3月1日(日)岩戸町会公民館第一会議室にて、令和7年度・第30回地域懇談会が行われました。本懇談会は今回で第30回を迎え、長年にわたり地域の声を直接伺う大切な機会として続けられております。今年度は、岩戸南地区懇談会に28名、岩戸北地区懇談会に29名の理事・班長・本部役員の方にご出席いただき、町会活動の現状や課題、今後の運営について意見交換が行われました。

【会長挨拶】町会は3000世帯をこえる会員の皆さまに支えられ、防犯・消防・防災・交通・環境文化・広報活動など、地域の安心安全を守る活動を継続しています。一方で、社会環境の変化や高齢化の進行、共働き世帯の増加などにより、町会活動への関わり方も大きく変化してきています。役

員や班長の担い手不足、情報伝達の方法、地域との関わり方などは、今後の町会運営における重要な課題となっております。特にコロナ禍以降、人と人が直接顔を合わせる機会が減少し、地域のつながりをどのように維持していかかが改めて問われるようになってきました。その対応の一つとして、岩戸町会ではホームページの開設やLINE公式アカウントの運用など、情報



発信のDX化(デジタル活用)を進めています。現在、LINE登録は900世帯を超え、地域情報をより迅速に届ける新たな手段として活用が広がりつつあります。しかしながら、デジタル化だけですべてが解決するものではありません。会費集金や日常の声掛けなど、直接顔を合わせる機会が地域の見守りや安心につながっている側面もあります。今後も紙とデジタル、それぞれの良さを活かしながら、無理なく続けられる町会運営を目指していきたいと考えています。

本日の懇談会では、町会の現状や取り組みについて共有させていただくとともに、日頃地域の最前線で活動されている理事・班長の皆さまから率直なご意見や課題を伺い、今後の運営に活かしていきたいと考えております。限られた時間ではありますが、形式にとらわれず、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

【午前の部・南地域】
南地域の懇談会では、日頃の地域活動に関わる理事・班長の皆さまから、現場の実感に基づいた具体的な意見交換が行われました。

町会費を年額1000円へ減額したことについては、「集金時の小銭管理の負担がなくなった」といった声が聞かれました。また、町会費を活用して設置された防犯カメラについては、目に見える成果として地域の安心感向上につながっているとの評価が共有され、「勧誘時に説明しやすく、新築世帯の加入にもつながっている」など肯定的な意見が多く寄せられました。

交通安全に関しては、七叉路交差点周辺の通行安全や道路工事時の情報共有、歩道を走行する自転車への不安など、日常生活の中で感じている声が挙げられました。特に子どもや保護者の立場から、安全面への継続的な配慮が必要ではないかとの意見が出されました。

町会運営については、「役員が無理をしないこと」「継続できる仕組みづくりが重要」との意見が印象的でした。DX推進(デジタル活用)については、LINE登録のメリットを明確に示し、アンケートや協力募集など双方向の活用を進めてはどうかとの提案があり、マンション住民への情報発信や意見収集の方法も今後の課題と

岩戸町会だより

して共有されました。
また、外国籍住民との連絡に苦慮した事例が紹介され、多言語案内や学校・PTAを通じた地域とのつながりづくりの必要性も話題となりました。

防犯面では「夜間に玄関灯を点灯する」など、各家庭で取り組める防犯意識の向上についても意見が出されました。

会費集金については、顔を合わせる事による見守り効果を評価する声がある一方、回収日時の工夫やマンションでのキャッシュレス化など、負担軽減に向けた検討の必要性も挙げられました。多様な住民とつながる入口としてDX（デジタル活用）を活用しながら、対話を重ねて改善していく方向性が確認されました。

【午後の部・北地域】

北地域の懇談会では、町会活動の現状共有と今後の運営のあり方について、理事・班長の皆さまを中心に幅広い意見交換が行われました。はじめに、町会運営全体に関わる課題として、情報伝達方法や活動参加のあり方について意見が交わされました。近年は働く世代やマンション居住者の増加によ



り、従来の方法だけでは情報が届きにくい状況もあり、紙による配布とデジタルを組み合わせた運営の必要性が改めて共有されました。QRコードによる出欠確認や電子回覧板への導線づくりなど、無理なく継続できる「ハイブリッド（デジタルと紙）運用」が現実的であるとの認識が示されました。回覧板については、本部としては従来型の回覧板運用を停止している一方、地区判断で継続している班もあることから、現状の整理について意見が出されました。現在は全戸配布資料を班長が各戸へ届ける方式を基本とし、回覧板は

任意運用とし地域実情にに応じて対応していることが説明されました。防災分野では、町会本部が約1年余りをかけて作成した地域防災地図「まちまも岩戸防災マップ」について説明が行われました。本マップは、地域内の消火器やAED、避難の目安となる場所などを分かりやすくまとめたもので、今回の町会だより配布とあわせて全回員へ配布されます。紙で手元に備える安心と、ホームページでの閲覧を併用することで、地域全体の安全確保と会員サービスの両立を図る取り組みであることが共有されました。また、岩戸地区には町域内に指定避難所がないという地域特性についても改めて確認され、周辺学校との連携強化の必要性が示されました。

消防部からは、火災による被害の多くが高齢者世帯で発生している現状が報告され、早期通報や初期対応のためには日頃からの近隣関係が重要であることが強調されました。あわせて、町会が設置・運用している防犯カメラ11台の実績が紹介され、地域防犯への効果を踏まえ、北地域においても今後増設を検討していく方向性が示されました。

さらに、岩戸親睦会との役割分担や地域行事への協力体制についても整理が行われ、子ども向け活動や地域交流の機会を広げていくためには、より分かりやすい情報発信と参加のきっかけづくりが重要であると認識が共有されました。

弔慰金・出産祝い金の申請について

事由発生から6カ月以内に申請が町会事務所に届くように、各班长もしくは、理事まで提出を、お願いします。また、岩戸町会会員と同一世帯の人が対象となります。毎週日曜日十三時～十六時が開所日となります。

電話 03 (5497) 0381
留守電可。

東京都主催「狛江つながり広場」に岩戸町会登壇しました

令和8年2月28日（土）、東京都主催「狛江市つながり広場」がこまねみらいテラス（中央公民館）地下ホールにて開催され、岩戸町会が事例発表団体として登壇しました。本イベントは、町会・自治会がこれからの地域のつながりや

岩戸町会だより

運営のあり方について考えることを目的に開催されたもので、市内外の町会関係者や行政担当者など多くの参加者が集まりました。

当日は岩戸町会会長より、町会活動の現状や課題、そして現在進めているDX（デジタル活用）による取り組みについて発表を行いました。近年、生活スタイルの変化やコロナ禍を経て、回覧板の負担や担い手不足、地域内での交流機会の減少など、町会運営を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況の中で、情報をより確実に届けるとともに役員負担を軽減するため、岩戸町会ではホームページの整備、LINE公式ア



アカウントやSNS（ソーシャルネットワーク）キングサービス社会的なつながりを作るサービス）を活用した情報発信など、新しい仕組みづくりを進めていることを紹介しました。また、外部専門人材（プロボノ）の協力を得ながら運営体制の見直しを行い、特定の役員に負担が集中しない「引き継げる町会運営」を目指している点についても説明しました。デジタル化は目的ではなく、地域の皆さん同士がよりつながりやすくなるための手段であることを共有しました。

後半のトークセッションでは、中和泉町会による防災への取り組み発表に続き、会場参加者との活発な質疑応答が行われました。外国人住民への情報伝達のあり方、高齢化社会における見守り体制、老人クラブや福祉団体との連携、人材不足による地域団体間の担い手の重複など、多くの地域に共通する課題について意見交換が行われました。

岩戸町会からは、地域には多くの活動団体が存在する一方で担い手は限られており、組織同士が連携し横のつながりを強めることが今後ますます重要になるとの考えを述べました。参加者からは地域

の居場所づくりや多世代交流の必要性などの提案もあり、「つながること」の大切さを改めて実感する機会となりました。



今回の登壇を通じて、岩戸町会の取り組みを広く発信するとともに、他地域の活動から多くの学びを得る貴重な機会となりました。

岩戸町会では今後も、誰もが参加しやすく、安心して暮らせる地域づくりを目指し、時代に合わせた町会運営を進めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

岩戸町会公式LINE アカウントの登録のお願い

岩戸町会では、令和7年6月に公式LINEアカウントを開設し、令和8年2月現在、登録者は900名を超えました。少しずつ登録者が増え、町会の情報を“手元で確認できる”環境が整いつつあります。LINEでは、町会だより（本部活動）や町会ニュース（時事的な情報）を中心に、行事の案内、防災・防犯情報、急な変更のお知らせなどを迅速にお届けできます。回覧板を見落とししてしまう方や、忙しくて掲示板を確認できない方にも、必要な情報が届きやすくなるのが大きな利点です。まだ登録されていない方は、ぜひこの機会にご登録をお願いいたします。町会の「いまを、もっと身近に感じていただければと思います。

 ホームページ HOME	 岩戸町会 SNS SNS	 岩戸町会だより & ニュース LETTERS & NEWS
 防災情報 DISASTER PREVENTION	 申請書類 DOCUMENTS	 柏江市電子回覧板 CIRCULAR BOARD

岩戸町会だより

新年度の理事・班長の交代に向けて

4月から新年度を迎えるにあたり、理事・班長の交代の時期となります。任期を終えられる理事・班長の皆さま、これまで地域のためにご尽力いただき、誠にありがとうございました。

町会活動は、本部役員だけでは成り立ちません。各地区で理事・班長の皆さまが日々支えてくださることで、地域のつながりが保たれ、必要な情報が行き届き、行事や防災活動も円滑に進んでいます。まさに理事・班長は、町会と地域をつなぐ大切な存在です。新しく理事・班長になられる皆様には、前任からの引継ぎをお願いしております。最初は戸惑うこともあるかもしれませんが、活動の内容や手順は前任者や本部で丁寧に共有してまいります。理事・班長の役割は、回覧や連絡だけではなく、日頃から地域の様子に目を配り、困りごとや変化を町会に伝える“地域の窓口”でもあります。災害時には、顔の見えるつながりが大きな力になります。普段からの声かけや、ちょっとした見守りが、いざという時の安心につながります。

岩戸町会ホームページ

完成のご案内

岩戸町会では、1月に公式ホームページを開設しました。町会の活動は、回覧板や掲示板だけでは伝えきれない内容も多く、またお仕事や子育てなどで情報を受け取りにくい方も増えています。そこで、必要な情報を「いつでも」「誰でも」確認できる場所として、ホームページを整備しました。行事予定や各部の活動、防災・防犯に関する案内、町会だよりの掲載などを順次充実させていきます。地域の情報を正しく、わかりやすく届けることは、安心・安全なまちづくりの第一歩です。今後も皆さまにとって使いやすいホームページを目指してまいりますので、ぜひ活用ください。



岩戸町会ホームページQRコード

岩戸地域

「まちまも防災マップ」完成

1月末に

岩戸地域

「まちまも

防災マップ」

が完成しました。これは、市が作成する広域の防災地図とは別に、



岩戸地域の实情に合わせた“より身近で役に立つ地図”を作りたいという思いから始まった取り組みです。国土地理院の地図データを活用し、役員が実際に地域を歩いて、街頭消火器の位置などを一つひとつ確認しました。岩戸は南北に広く、確認や制作作業には約1年を要しましたが、その分、地域の細かな情報が反映された防災地図となりました。ご家庭では、冷蔵庫や玄関先など、いつも目に入る場所に貼っていただき、日頃から避難や備えを意識するきっかけにいただければ幸いです。

町会交通部

「自転車の正しい乗り方セミナー」

令和8年4月1日より、自転車にも交通反則通告制度（青切符）が導入されます。これにより、信号無視や一時不停止、携帯電話を見ながらの運転など、危険な違反行為には反則金が科されることになります。知らないうちに違反してしまうことを防ぎ、事故のない安全な地域づくりにつなげるため、岩戸町会交通部では調布警察署より講師をお迎えし、セミナーを開催します。基本ルールの確認に加え、日常で起こりやすい事故の事例や、安全に走行するためのポイントをわかりやすく学べる内容です。自転車に乗る方はもちろん、ご家族に利用者がいる方もぜひご参加ください。

【日時】3月21日（土） 十時三十分～正午

【場所】岩戸地域センター

3階・岩戸

町会第一会議室

